

立野遺跡確認調査結果概要

(1) 調査期間

平成29年5月9日～5月23日

(2) 調査面積

約200.86㎡

(3) 調査方法

トレンチ間の間隔が30m程度となるように、幅約2m、長さ約2.6m～11.5mのトレンチを計14か所設定し、機械及び人力により掘削を実施。

(4) 調査結果

事業予定地の一部の範囲において埋蔵文化財（中世以前の素掘り井戸・古墳 時代～弥生時代中期の自然流路・自然木・加工木・土器など）の展開が確認された。

(5) 今後の取り扱い

「和歌山県における発掘調査を要する場合の取り扱い基準」に基づき、工事により埋蔵文化財が掘削され損壊される場合、高架・橋梁・歩道以外の道路並びに盛土・埋め土の厚さが2m以上となる恒久的な盛土及び埋め立ての場合などは、本発掘調査が必要であると判断される。

